

臨床研究活性化の試み －eAPRIN受講率向上の方策－

高見 裕子[†]第77回国立病院総合医学会
2023年10月23日 於 大阪

IRYO Vol. 78 No. 5 (296-300) 2024

要旨

一般財団法人公正研究推進協会（APRIN, Association for the Promotion of Research Integrity）は、わが国の研究者、その途上の者、そして研究支援の立場の者への研究倫理関連教材や勉強会の提供、そして研究機関の規範作りなどへのコンサルテーションを通じて科学の発展にともなうグローバルな研究倫理を啓発し、研究機関および各種学術団体の研究活動を積極的に支援することを目的として、わが国の生命医科学系・理工系・文系など学術研究を代表する研究者達によって2016年に設立された。国立病院機構九州医療センター（当院）では数年来、同APRIN提供研究倫理教育eラーニング（APRIN e-learning program 以下 eAPRIN）受講率100%を維持できている。その取り組みを2023年10月広島にて開催された第77回国立病院総合医学会シンポジウム14「臨床研究を活性化するための方策」において「eAPRIN受講率向上の方策」として発表した。

当院における4月の職員へのeAPRIN受講周知から始まる各月の臨床研究センター業務と、eAPRIN受講の背景における院内の臨床研究活性化に向けた工夫を報告する。

キーワード eAPRIN, 受講率向上, 臨床研究活性化

はじめに

eAPRINは、「研究者育成の為の行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開」を目的に作成された教育プログラムであり、臨床研究に携わる際にその受講は必須である。しかし、日々の多忙な診療の中で、すべての臨床研究に携わる者の受講は困難を極める。国立病院機構九州医療センター（当院）ではさまざまな時期における臨床研究センターからの働きかけで数年来、受講率100%を維持できている。今回その取り組みを紹介する。

また、eAPRIN受講を訴えるだけでなく、院内の臨床研究への気運を高め、職員に受講の必要性を自ずと理解してもらえるようなさまざまなイベントを企画してきた。

今回、これらの当臨床研究センターの奮闘を披露する。

当院でのeAPRIN受講 年間スケジュール

1. 4月

まず4月の新採用者・新任医師オリエンテーショ

国立病院機構九州医療センター 臨床研究センター [†]医師
著者連絡先：高見裕子 国立病院機構九州医療センター 臨床研究センター
〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1
e-mail: takami.yuko.px@mail.hosp.go.jp
(2024年3月27日受付 2024年8月2日受理)
Strategies to Improve the eAPRIN Attendance Rate
Yuko Takami NHO Kyushu Medical Center
(Received Mar. 27, 2024, Accepted Aug. 2, 2024)
Key Words: eAPRIN, improvement of attendance rates, clinical research activation